

育メン応援グッズ充実

「男の子育て」に対する社会環境整備が進む中、男性育児の応援グッズを取りそろえたショップが17日、春日井市内にオープンする。実際に子育て奮闘中の三浦一成社長が弟と設立した会社の1号店で、父親目線で実用的かつこだわりの育児スタイルを提案していく考えだ。（春日井）

店舗名は「DADLY（ダッドリー）」

（春日井市高山町1の20の6・ビレッジ林1階）。4歳児と6カ月児の父である一成社長が最初の子を散歩などに連れ出す際、「おむつや着替え、お茶などの荷物は増えるものの、持ち運びができて男性が納得のいくカバンがなかなか見つからなかった。いっそのこと自分でグッズを集

店に 井号1 春日井 M—Bros

め、育児を応援するシヨップができないかと「男性育児の専門誌が発刊されたり、国の少子化対策の動きなども後押しとなった」と話す。

こだわりスタイル提案

3年強の構想準備期う。

間を経て営業マンから仕入れ面では国内外独立開業、弟の勇輝氏のメーカー情報をこまも取締役に加わり、三めに収集、直接仕入れ浦兄弟を意味する会社の割合を増やすこと「M—Bros」を今最新商品をスムーズに年4月に立ち上げた。入手できるようにした

男性育児の応援シヨップを開設する三浦一成社長（左）と三浦勇輝取締役



ほか、一般のベビーシ視したメッセンジャーシヨップで扱いないアウトドアブランドの衣ザインのストローマ料、ボトルなども実用グ、竹集成材で作られ性やエコを意識しながら軽量食器、ベビーカ一などのほか、子供とら提案する。店内には見た目も重楽しめる精巧な動物フ

父親目線でエコにも配慮

イグニオやミニカーなども多数品そろえた。価格帯はストローマグが700円、バッグが1万6800円など。

玩具コーナーは、子供がしゃがんでもいいようにカーペット敷きにしたほか、奥に授乳室を2カ所、うち1カ所にはおむつ台を併設し、滞在時間を気にせず買物ができるよう、「父親目線」で配慮している。

「専門店というより雑貨店を育児用品にふったような業態。大人も子供も楽しめるものを前面に押し出している」と意欲を見せている。営業時間は午前10時半から午後7時まで。定休日なし。